令和5年度2学期 生活(いじめ)アンケート 全体集計

1.あなたについて	肯定的回答 すごく思う まあまあ思う			否定的回答 あまり思わない ぜんぜん思わない		
	低	中	高	低	中	高
(1)あなたの気持ちについて聞きます						
①学校が楽しい	88%	93%	94%	12%	7%	6%
②みんなで何かをするのが楽しい	97%	95%	94%	3%	5%	6%
③授業に自分から取り組んでいる	88%	91%	75%	12%	9%	25%
④授業がよくわかる	91%	99%	90%	9%	1%	10%

2.いじわるや嫌なことについて	ある 1週間に何度も 1週間に1回ぐらい 月に2,3回			ほとんど無い		
	低	中	高	低	中	高
(1)あなたはいじわるや嫌なことをどれくらいされましたか						
①仲間はずれにされたり、無視されたりした	4%	6%	5%	96%	94%	95%
②からかわれたり、悪口や嫌なことを言われた	9%	10%	8%	91%	90%	92%
③ぶつかったり、たたかれたり、蹴られたりした	4%	5%	4%	96%	95%	96%
④物をとられたり、隠されたりした	4%	3%	2%	96%	97%	98%
(2)あなたはいじわるや嫌なことをされている人をどれくらい見ましたか						
①仲間外れにされたり、無視されたりした	3%	7%	4%	97%	93%	96%
②からかわれたり、悪口や嫌なことを言われた	8%	11%	14%	93%	89%	86%
③ぶつかったり、たたかれたり、蹴られたりした	6%	12%	6%	94%	88%	94%
④物をとられたり、隠されたりした	3%	5%	3%	98%	95%	97%

3.助けたり、相談する人について	肯定的回答 よく気づいてくれる まあまあ気づいてくれる			否定的回答 あまり気づいてくれない 気づいてくれない		
	低	中	高	低	中	高
(1)あなたが元気のないとき、すぐに気付いてくれますか						
①家族	86%	89%	86%	14%	11%	14%
②先生	92%	90%	80%	8%	10%	20%
③友だち	78%	85%	86%	23%	15%	14%
(2)あなたの相談にのったり、気持ちをわかってしてくれますか						
①家族	91%	90%	90%	9%	10%	10%
②先生	93%	94%	88%	7%	6%	12%
③友だち	85%	89%	93%	15%	11%	7%

1・①②については、1学期と比べて、低学年で①が低下した以外は、全て肯定的回答が増加している。大きな行事が多かった2学期は高学年児童にとっても充実した学期となったことがうかがえる。

・一方③④については、高学年で肯定的回答が減少した。学習内容が複雑になり、わかったという達成感を得にくい児童もいる。達成感は次への意欲となり、意欲的に取り組めば成果も上がりやすく、更なる達成感へとつながる。しかし、逆の場合は負のスパイラルになってしまう。児童が興味・関心をもって取り組めるような教材提示と、その意欲を維持できるような授業展開を心掛けたい。

2・自分がされたことに関しては、「ほとんど無い」が90%を超え、概ね満足できる数値である。引き続き、100%になることを目標として取り組みたい。

・「見た」という点においては、実際に「された」という回答よりも高い数字を示しており、「された」ことを言い出せない場合もあると考えられるので、注意深く観察しながら、仲間づくりを進めていきたい。

・自分自身が満たされていない場合、他人に強く当たってしまった、関りを求めたりすることも考えられる。一人一人が認められる環境をご家庭と協力しながら築き、いじわるを「された側」だけでなく「した側」の気持ちも理解することで、再発を防ぎたい。

3・「元気がないときすぐに気づいてくれる」「相談にのってくれる」について、学年が上がるごとに友だちへの期待度が高まっている。思春期と呼ばれる時期において、家族や先生よりも友だちとの結びつきを強める傾向にあると考えられる。そのことから前項2での友だち関係には注意が必要であることがわかる。

・教職員は、児童の変化を敏感に察知できる教職員であるとともに、相談しやすい雰囲気づくりにも努めていきたい。